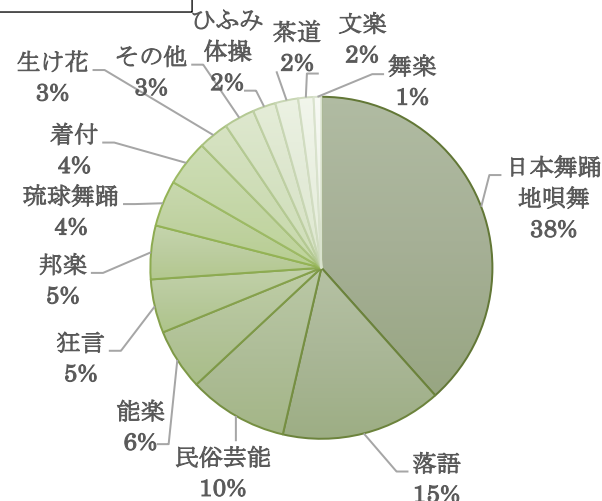


2019年度は大きな派遣授業が2件中止となりました。2020年度の活動も今のところ予定が立ちません。実演家の先生方には、大変な時をお過ごしと存じます。伝統芸能、伝統文化の存在意義について考えるよい機会となりました。むすびの会ならではの役目を果たしたいものです。



## 分野別シェア



## 派遣回数と内容例

- 1回：多数
- 2回：落語の紹介導入、児童が発表に向けて練習後、指導に伺う。発表に向けての指導
- 3回：1週間に女流義太夫の体験授業を3回行い、短期間に深く体験する
- 1学期間、毎週1回：私立小学校「舞踊」の授業で毎回15分間、ひふみ体操指導

## 学習指導要領の教科として指導出来る例

国語 狂言／義太夫／落語  
 社会 世界を知ろう(外交専門新聞記者)  
 音楽 能楽／邦楽(和楽器)  
 体育 能楽／狂言／地唄舞／日本舞踊／琉球舞踊／ひふみ体操(オリジナル)  
 道徳 江戸しぐさ  
 伝統文化教育 伝統芸能全般 スペシャリストの話聞く授業

## 学習指導要領の教科として指導した感想

国語／狂言：小学校6年生教科書(光村図書)の『柿山伏』の実演鑑賞、体験の学習児童より「教科書で音読していたのと全く違って驚いた」「狂言役者の声が大きくてびっくりした」  
 国語／義太夫：学年に合わせて、代表的な義太夫の一説を語る児童より「久しぶりに大きな声を出して気持ちよかった。自分はこんなにも大きな声が出るのかと認識した」「三味線の音で人間の感情を表現できることに驚いた」先生方から「国語音読、音楽にも発声で役立つ」「発声しやすい姿勢の学び」「語るためのリズムの習得に役立つ」

## 9. お知らせ

当会会員の先生方が多数関わり10種類の芸能について語る書籍(動画DVD付)が出版されました!薫風社 定価2,000円+税是非ご覧くださいませ!これまでにない超・入門書となっています。

むすびの会 HP <http://www.musubinokai.org>  
むすびの会の活動は、facebookでも随時公開中です。



発行 2020年3月 特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会  
〒145-0071 東京都大田区田園調布 1-12-14-207 <http://www.musubinokai.org>

## 琉球舞踊 成り立ちとその魅力

志田真木  
琉球舞踊 重踊流 二世宗家



琉球舞踊は、琉球王朝時代、能楽や中国、東南アジアなど周辺地域の芸能の影響を受けて発展しました。王朝期には貴人をもてなすための宮廷芸能(舞台芸術)として「古典舞踊」が確立され、王朝崩壊後は、古典舞踊の伝承と共に柔軟でありながら逞しく進化し、庶民の生活等を題材にした「雑(ぞう)踊り」が誕生しました。現在は、それらの伝承と共に、現代の舞踊家によって新しい作品も創作されています。2009年には、国の重要無形文化財に指定され、多くの皆様にも目にして頂く機会が少しずつではありますが、増えてきたのではないかと思います。

琉球舞踊の魅力として、「癒し」や「祈り」のような感覚を受けるといった感想をいただくことがあります。冒頭に琉球舞踊の成立を短くお話させていただきましたが、更に古く遡れば、沖縄各地に伝承されている祭祀儀礼や祈りの所作(舞踊)が源流と言われています。また、沖縄は地上戦という悲惨な歴史を経ています。戦争では、形あるものの多くを失いましたが、受け継がれた技は、先達の身体に宿り、逞しくもしなやかに紡ぎ繋がれ、現在に至っています。私は舞台をつとめる際、作品の内容を踊ることと共に、ある部分では踊ることが祈りであり、踊れることが感謝であるような気が致します。作品自体と重ねて、そのような背景がどこか反映され、観る側へ伝わるからなのでしょう。

宗家志田房子は戦前より舞の道へ入り、今年芸歴八十年を迎えます。自身の舞台活動や後進の指導はもとより、新作の振付、そして琉歌や作曲に至るまでの創作活動と、意欲的な日々を過ごしております。私は、今年度文化庁より「世界の人々の日本文化への理解の深化につながる活動や、外国の文化人とのネットワークの形成・強化に繋がる活動の為」の文化交流使に任命頂き、海外での活動に力を注いで参ります。

これからも、ひとつの舞台、ひとつの作品、ひとつの歩みを大切に踊り繋いでまいりたいと思います。

一人でも多くの方に琉球舞踊に関心をお寄せ頂き、劇場へ足をお運びいただけましたら嬉しく思います。

## 活動報告

### 1. 通常総会 (参加者 56名 委任状出席を含む)

2019.6.16(日) 13:00~13:40 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント 17F  
第17回通常総会が行われました。詳細は議事録(昨年発送)の通りです。

### 2. 研究会主催 (参加者 23名)

2019.6.16(日) 14:00~16:30 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント 17F  
共催: 明治大学研究・知財戦略機構アジア太平洋フォーミング・アーツ研究所<RIAPPA>  
比較舞踊学会 伝統と舞踊研究会

テーマ: 「学校での伝統文化教育」

#### 事例報告

風の子保育園 「保育園児はなぜ アイヌの踊りに夢中になるのか？」

五十嵐友子(明治大学大学院博士後期課程) 藤波陽子(風の子保育園保育主任)

①大田区立調布大塚小学校 3年間の関わりと2018年度全学年対象「女流義太夫」  
3回の指導

コーディネーター 澤田朱里(古典空間) / 森田ゆい(むすびの会)

②大田区立松仙小学校 2018年度 4年生対象 総合的な学習の時間

3組「伝統芸能」 1組「お茶」

受け入れ校教諭 齋藤隆径(松仙小学校教務主幹)

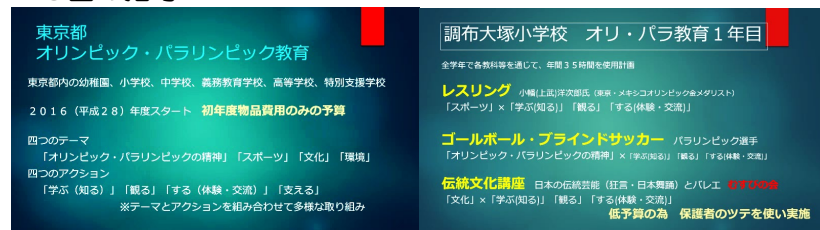
実演家(茶道) 中澤宗寿(茶道教師)



2016~2018年度は公立小学校の正規授業を受け入れ学校の先生と共に準備をし、様々な授業を提供することが出来ました。それらの内容について、むすびの会(コーディネーター)、受け入れ校教諭、指導した実演家がそれぞれの立場から進め方や成果について報告をし、今後の学校現場での伝統芸能、伝統文化教育に関する課題について話し合いました。主な概要について以下に報告致します。

①大田区立調布大塚小学校 3年間の関わりと2018年度全学年対象「女流義太夫」

3回の指導



東京都によるオリンピック・パラリンピック教育の一環として1校で3年に渡り、関わらせて頂いた記録の報告資料です。

## 7. 会員対象企画

茶の湯サロン パートV 年4回 (参加者4回 累計28名)

テーマ: お茶を点ててみよう / 茶事(朝茶)を体験しよう

/ 茶懐石を学ぼう / 新年会を兼ねて

講師: 中澤宗寿(表千家茶道講師) 大田区内中澤先生ご自宅茶室

#### 参加者より

講義的な要素に茶事なお食事などの要素も加えたサロンに成長してまいりました。

和気あいあい、何方でも楽しんで頂けるサロンです。是非お気軽にご参加くださいませ。

参加費: 会員 1回5千円

ビジター 1回6千円

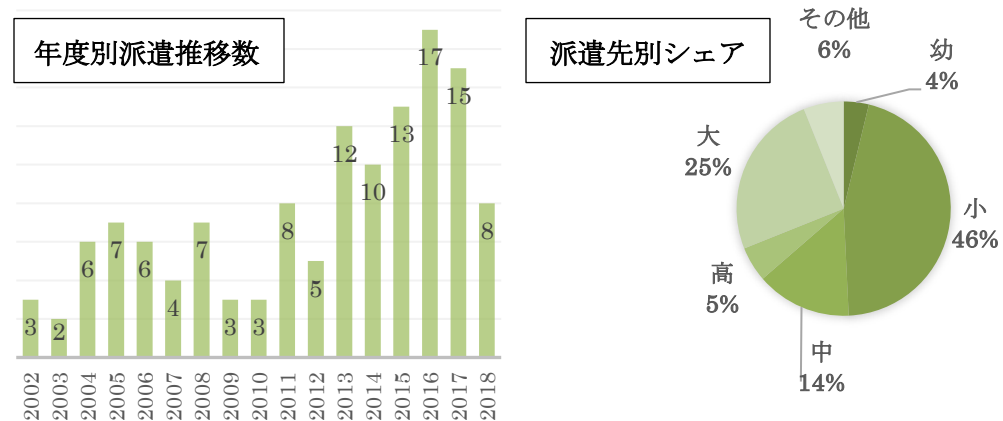


## 8. その他

### むすびの会 派遣授業の分析

塚越 寛子(アシスタント・プログラムオフィサー)

【派遣回数】2002年度から2018年までの17年間における総派遣回数は129回。小学校での体験講座、大学の専門的授業への派遣を中心として年々伸ばしてきた。



#### 【芸能分野】

分野別にみた際、全体の約4割を日本舞踊(地唄舞)が占め、次の落語が1.5割を占める。

傾向として、身一つで実演、体験ができる芸能分野が、楽器を必要とする邦楽や道具を必要とする茶道などに対し大きな割合を占めている。身体的芸能と音楽的芸能という分け方をした場合には、身体的分野の派遣が多い傾向にある。



2) 7月29日 大田区立雪谷小学校サマースクール(14名)  
「ひふみ体操(日本舞踊)」 神崎貴乃介(神崎流師範)



3) 9月14日 横浜市立市ヶ尾中学校 わくわく交流会(14名)  
「日本舞踊ってむずかしいの?」藤間多京(藤間流師範)他3名



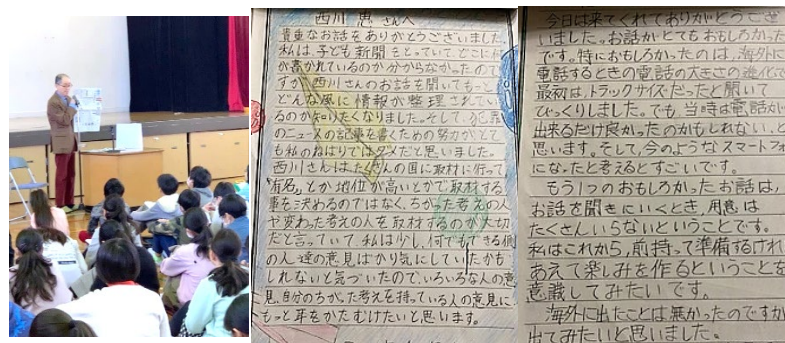
日本舞踊をおどってみて、先生方のおどっている姿をみて感じた事は、日本の感謝の気持ちです。どのおどりに、最後必ず「おじぎ」をしていて、私達がおどった「さくら さくら」でも、さいごに「おじぎ」をしていました。日本舞踊は、激しいおどりもあるし、面白いおどりもあることを知って、日本人の表現力、お客さんを楽しませようとしている心を感じ、感謝の心も、とても感じることができました。日本人、人として忘れてはいけない感謝の心の重要性を、日本舞踊を通して痛感でき、とても良い経験になりました。(1年女子)

4) 9月25日 足利市立葉梨小学校(5・6年生 160名)  
「わくわく歌舞伎体験」藤間大智(藤間流師範) 子ども歌舞伎上演の地区にて地元小学生への普及も目指した授業  
扇の扱い方や役割、美しい姿勢やお辞儀の仕方、舞踊の基本なども目指した授業  
扇の扱い方や役割、美しい姿勢やお辞儀の仕方、舞踊の基本なども楽しく学びました。(担当教諭)

5) 12月7日 明治大学 国際交流発表会 ART-LIVE-RALLY 2019(10名)  
「着付け(浴衣、男性訪問着)」宮本恵美子(着付け教師)

授業で週1日、1年間、浴衣の着付けと、帯の基本的な結び方を習得していたので、今回、プロの着付けの宮本先生から、直伝で着付けてもらうということで、学生もとても嬉しかったようです。(おそらく、いつもの自分とは違うポイントを発見したかと) 帯の結び方も、創意工夫で、様々なアレンジがあることを、宮本先生に実践していただきました。学生たちは、個性あふれる帯結びに感激していました。また、宮本先生に控室で学生たちの会話に深くコミットしていただきましたことにも、心より感謝申し上げます。(教諭)

6) 2月19日 大田区立調布大塚小学校(5,6年生 120名)  
「国際理解教育」  
西川恵(毎日新聞社元記者、外交ジャーナリスト)



**調布大塚小学校 オリ・パラ教育2年目**  
テーマ: 日本人としての自覚と誇り 「文化」×「学術的知識」×「歴史」×「身体・交流」  
対象: 全学年286名 体験は2学年ずつ  
**江戸しくさ** 芥川友慈(一社)芝三光の江戸くさ振興会 **むすびの会**  
講師謝金をお支払頂く  
**歌舞伎講座** わざをぎ **むすびの会**  
講師謝金をお支払頂く  
**狂言鑑賞講座** 山本東次郎家 森田個人の紹介 対象: 4~6年生  
講師謝金の一部をお支払頂く

**江戸しくさ** 内容  
①あいさつことば  
②江戸のまちについて  
③傘かしげ  
④肩引きしくさ  
⑤こぶし腰浮かせ  
⑥七三歩き  
⑦まとめ  
江戸の町は種類が色々やうい種類。一、お話を聞く知識を身につけたら、江戸の町を、市民の住みは、地味限定、地方から文化圏の違う人が集まって暮らしていた。  
子ども達の感想  
「小学校の朝歩道で朝の日に傘の扱い方を教えてほしい」と思う  
森田感想  
5,6年生は仲良くする知恵だと理解  
5,6年生は江戸時代に興味

**歌舞伎講座** 内容  
①楽器紹介  
②実演鑑賞  
「越後獅子」演奏のみ  
「松の三番笛」踊り付き  
全学年で同時  
③ひふみ体操体験  
2学年ずつ体験  
出演 わざをぎ  
南條大樹 立方(男)  
阿波野晴花 三味線  
岸野五子 三味線  
宮野真子 踊り物  
藤田和也 踊り物  
三井千鶴 唄方 6名  
子どもの様子  
本場で学んだ三番笛で手拍子が絡み、手拍子で全学年で参加しながら鑑賞

**狂言鑑賞講座** 内容  
①お話し 出演 山本則俊(教科書に写真が出ている)  
山本則重  
山本則秀  
若松隆  
②実演鑑賞  
「柿山伏」  
③体験とお話し  
子ども達の感想  
6年生「教科書で学んだ『柿山伏』では声だけを聞いていたが、初めて動作を見た。想像と全く違っていた」  
4,5年生「声が大きくて聞いた」

**調布大塚小学校 オリ・パラ教育3年目**  
テーマ: 豊かな国際感覚 「文化」×「学ぶ(知る)」  
対象: 小学4年生  
**プロトコール** 阿曾村智子(学習院女子大学非常勤講師) 森田個人の紹介 講師謝金をお支払頂く  
対象: 小学6年生  
**世界を知ろう** 西川恵(毎日新聞 客員編集員) 森田個人の紹介 講師謝金をお支払頂く  
**女流義太夫体験 3回** 義太夫協会より 文化庁のプログラム  
対象: 1~6年生 申請時より様々なフォロー **むすびの会より講師等特別**  
**国語「伝えられてきたもの」** 山本東次郎 対象: 6年生 講師謝金をお支払頂く

**女流義太夫体験**  
文化)文化芸術による子供の育成事業  
~芸術家の派遣事業~  
2018.12.11~18全3回 全学年(308名)  
講師:竹本京之助(太夫)・駒澤真希(三味線)  
一般社団法人義太夫協会より

**国語「伝えられてきたもの」学習**  
6年教科書 光村国語  
「伝えられてきたもの」作者・山本東次郎氏による学習  
○小学生の時の面白い報告の話  
○自由に飛ぶ姿に憧れ、蝶の採集が趣味となっていた話  
○狂言の精神について話  
○狂言の一部実演  
進め方  
事前に子どもから質問を集め、講師に提出。当日は1問ずつ担当が読み上げ、講師からの回答毎に子どもにつなぐ

副校長先生からのお話し 高倉由美子(現江川区立上小若第二小学校校長)  
**試みの発想**  
○ゲストティーチャーの効果(本物に触れる)を知っていた  
○オリパラ教育において自国の文化を知っているのと知らないのとでは違う  
○種まきは重要  
ツテを使ってゲストティーチャーを探す **ハードル1**  
現場の先生方の理解(時間数)が難しい面がある **ハードル2**  
予算 **ハードル3**

**むすびの会の課題**  
**ハードル1** 「ゲストティーチャーを探す」  
むすびの会での広報の仕方HP?  
**ハードル2** 「現場の先生方の理解(時間数)が難しい面がある」  
むすびの会での成果報告、広報の仕方?  
**ハードル3** 「予算」  
文化庁などの予算申請書作成等お手伝い可能であることを広報する?  
新学習指導要領2020年 一伝統文化教育が強くなる。  
学習指導要領に照らした広報の仕方が重要か?

**新学習指導要領**  
新たにに取り組むこと、これからも重視することは?  
○プログラミング教育  
○外国語教育  
○道徳教育  
○言語能力の育成  
○国語を要として、すべての教科等で子供たちの言葉の力を育みます。  
音楽  
体育  
国語  
社会  
江戸しくさ  
プロトコール  
世界を知ろう  
○理数教育  
○伝統や文化に関する教育(伝統文化教育 伝統芸能)  
我が国や郷土が育んできた日本の伝統や文化を学びます。  
○生涯教育  
○消費者教育  
○特別支援教育

**むすびの会の課題**  
新学習指導要領に沿った学習であり、どこの分野でどのような学習効果が得られるのかをハッキリと明示することが大切。  
女流義太夫なら言語能力で発声、音読、言葉のリズムの学習効果が期待できる。  
実演家の方にも学校の授業のスタイルに合わせてご指導を頂けるようにするには、コーディネートに特有のセンスが必要か? → **むすびの会の課題?**



②大田区立松仙小学校 2018年度 4年生対象 総合的な学習の時間

「伝統芸能」「お茶」

総合的な学習の時間

松仙小学校では、総合的な学習の時間の研究指定校(2017年度)であった。

1年間をかけて、1つのテーマに取り組む

4年生 日本の文化をテーマとする学年

1組「お茶」

3組「伝統芸能」→HPでむすびの会を見つけて連絡

総合的な学習の時間

学習課題

- ①人の人生を知る
- ②自分の将来を考える
- ③調べ学習をする

ポイント

教員が児童の調べる内容を指導しない。  
児童の自発的な考えを元に授業を展開する。

伝統芸能

- 6月 担任の先生と森田とで打ち合わせ
- 6月 概論 日本舞踊 森田ゆい
- 11月 能楽 シテ方 狩野一先生
- 2月 歌舞伎 立方 藤間大智先生  
鳴り物 望月実加子先生
- 2月 能楽 狂言方 山本則秀先生



お茶

- 6月 担任の先生と中澤先生とで打ち合わせ
- 7月 中澤先生が教室訪問
- 10月 中澤先生が教室でお点前を披露
- 11月 茶室見学
- 3月 発表会 児童が茶を点て、保護者をもてなし



より良い授業をするために①

【成果】

日本の伝統芸能にあまり興味を示さなかった多くの児童が、その良さや価値、それらを伝えていくための工夫や努力、なぜ長い年月継承されているのかなどが、分かるようになった。

【課題】

- ・講師の先生との打ち合わせ
- ・担任自身の知識が足りない

◆ゲスト講師による授業では次の進め方が効果的であることが判った。

- ①事前に実演家の先生に児童からの質問をお渡しし、回答を用意頂く。
- ②授業では担当の先生が質問を1つずつ読み上げる。
- ③回答を頂く。
- ④1つずつの回答を担当から児童に伝わりやすい言葉に変換して補足する。

◆実演家(茶道)の先生からは、「家元制度の中で習得する内容と学校教育とのシステムの違いが大きいので、その辺りをよくふまえた上で授業展開をする必要がある」とのコメントを頂きました。

より良い授業をするために②

担任として

・児童の実態を見極め、目標に向かって学習計画を立て、講師の先生との打ち合わせをする。

・教材研究をして、児童に学ばせたいよさや価値を深く理解しておく。

●講師(実演家)の思いに引っ張られないで、授業を計画し展開する。

講師(実演家)の先生として

・授業者の目指す児童像(目的)を把握する。

・児童の実態から、授業の目標、流れ、デザインを担当と共有しておく(できれば共に考える)。

●授業の目的を理解し、伝えたいことを明確にし、できることできないことを担任に伝え、授業計画を立てる。

3. 研究・調査活動事業

ひふみ体操の幼稚園での指導/幼稚園児用伴奏音楽の開発

2019年4月15日~7月1日間に7回(年長児49名)

協力:みたけ幼稚園 指導者:神崎貴乃介(神崎流師範)

伴奏音楽作成者:松永香代子(音楽療法士)

研究報告書:東京立正短期大学紀要 第48号掲載



4. 学校教職員研修事業

伝統芸能コトハジメ2019「わくわく歌舞伎体験」(小学校出前教室)

2019年6月26日(水)足利市立青葉小学校体育館(参加者3~5年生157名)

講師:藤間大智(日本舞踊家 藤間流・わざをぎ代表)

望月実加子(東京藝術大学助手・わざをぎ副代表)

伝統芸能体験教室は「あしかが歌舞伎親子教室実行委員会」(文化庁助成事業)と「むすびの会」の共催で実施しています。同実行委員会や「むすびの会」では、貴重な文化資源を活用して「こども歌舞伎」を上演することにより、文化財や伝統芸能に対する興味・関心を高め、後継者の育成を図ることを目的としています。つまり、国宝鏝阿寺・国史跡榊崎寺跡浄土庭園・史跡足利学校などの文化資源と無形の文化遺産(伝統芸能)とを結びつけることにより、相乗的に歴史と文化のまちづくりを図るものです。

藤間先生はいつも「お客様を驚かせ、楽しませるのが、歌舞伎です」と子どもたちに説明しています。長唄の演奏に合わせて、「三番叟」を披露すると、生徒たちは目をきらきらさせて見入っていました。そのほか、美しい姿勢や扇の扱い方、座礼の仕方を学び、「和の動き」(ひふみ体操)を通して体幹を鍛える動作を学習しました。体験した女子生徒は「日本の伝統芸能の面白さが分かり、本当によかった。大きくなったら歌舞伎座にいつてみたい」と笑顔で話していました。 文責:コーディネーター担当 高久保純



5. 指導者育成のための教育・研修事業

1) 7月24日 大田区立田園調布小学校サマースクール(20名)

「江戸しぐさ」芥川友慈 他(芝三光の江戸しぐさ振興会)

2) 7月31日 大田区立松仙小学校サマースクール(24名)

大田区立嶺町小学校サマースクール(30名)

「お花のワークショップ」坂本澄(真池坊家元)



6. 指導者紹介支援事業

1) 7月25日 大田区立調布大塚小学校サマースクール(36名)

「エイサー体験 3,4年生対象」波照間永子(重踊流師範)